# 平成23年度事務事業評価シート(平成22年度分)

予算科目	会計	一般会計		001	款	04	項	01	目	08
事務事業名	環境衛生事業									
担当部署	市民部環境交通安全課 1401000 電話 0187-63-1111				内線	277				

### ◆事務事業の位置づけ

	施策の柱	05:環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり
総合計画の体系	施策の大綱	01:自然環境の保全
応口引回の体系	施策	01:自然環境の保全
	施策の内容	03:市民の自主的な活動への支援
根拠法令等		

### ◆計画Plan

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	市民が安心して暮らせる環境を整えるため、公衆衛生の向上を図るとともに、市民の自主的な取り組みに対する支援を行うことで意識の高揚を図る。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	市民、自治会、町内会
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	①側溝、排水路汚泥の回収、処理 ②大排水路の清掃 ③暗渠、舛等の清掃 ④清掃機具等の貸出 ⑤美化活動におけるごみの回収 ⑥一斉クリーンアップの実施 ⑦小動物死骸処理
事業の成果(どのような成果を期待するのか)	自治会等が行なう側溝清掃などの自主的な清掃活動に対する支援を行うことで、 生活環境の保持と向上を図ることができる。

### ◆実施Do

項目	名称			単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
		-	0		十八20千尺	十八二十尺	十八22十尺
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 全市一斉クリー	ーンアップ	P	回	1	1	1
	② 側溝汚泥清掃デー			□	2	2	2
	3						
	① 一斉クリーンアップ参加者			人	9,489	10,499	11,000
成果 (事業の成果を測る)	2						
	3						
投入コスト	決算額				2,410千円	3,447千円	3,254千円
	<b>次</b> 异做		一般財源		2,410千円	3,447千円	3,254千円
					9,705千円	9,866千円	9,985千円
	人件費	_	一般職員の年間従事人数		1.4人	1.4人	1.4人
		一般職員以外の年間従事人数					
	総コスト		(決算額+人	、件費)	12,115千円	13,313千円	13,239千円

事業を取り 巻く環境 公共下水道等の普及が推進されている一方、宅地開発等により用途が廃止された管理者不在の排水路 が増えてきている。

## ◆評価Check

		評価							
	①【市民ニーズ】	Α	薄れていない	^					
	事業を取り巻く	環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	В	薄れている	Α				
	②【市が実施す	る必要性】	Α	妥当である	۸				
	市が実施主体	В	妥当でない	Α					
	③【計画上の位	置づけ】	Α	妥当である	۸				
必要性	施策を達成す	るための手段として妥当ですか	В	妥当でない	Α				
	評価の理由 住民の自主的な清掃活動を支援することにより、環境美化に対する意識の向上が図れるとともに、衛生的で快適なまちづくりの推進につながるため必要である。								
	①【成果】		Α	上がっている	۸				
	活動結果に対	し事業の成果は順調に上がっていますか	В	上がっていない	Α				
	②【活動内容見	直しの余地】	Α	余地はない	۸				
	事業の成果を	さらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	В	余地はある	Α				
	評価の理由	排水路清掃、汚泥清掃により害虫の発生を防ぐとともに、側時の道路冠水防止、宅地浸水防止等になることから当該事			い、降雨				
	①【民間の活用	]	Α	できない					
	指定管理 <b>者</b> 制	度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	В	できる	Α				
	16人日在10	及と日も民間安配寺にあた。コハト語域でであるため	С	指定管理導入中					
	②【他事業との経	· 連携】	Α	できない					
					B				
	他の類似事業	との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	В	可能である	В				
	他の類似事業 ③【人件費の圧		B A	可能である					
ᄽᅑᆘ	③【人件費の圧				В				
効率性	③【人件費の圧 適正な人員配 ④【コストの縮源	縮】 置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A	削減できない	Α				
効率性	③【人件費の圧 適正な人員配 ④【コストの縮減 上記以外の方	縮】 置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A B	削減できない					

#### ◆改盖△ction

総合評価 (今後の方向性)	A 現状のまま継続	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
	B 改善しながら継続	
	C 拡 大	
現状	D 縮 小	排水路等に堆積する汚泥は、主に生活排水の汚水が要因となっていることから、引き続き適宜清掃を実施するとともに、下水道施設整備と施設等
	E廃 止	への接続を促す取り組みが必要であると考える。
	F 終 了	